

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 12

事務事業名	大村湾を活かしたまちづくり自治体ネットワーク事業
-------	--------------------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市長公室		
課名	企画調整課		
課長名	増田 正治	内線	221
担当者名	山口 理行	内線	215

基本目標		人を育むまち
政策	010402	国際・地域間交流の推進
施策		地域間交流の推進
関連施策		

会計	1	一般会計
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	6	企画費
事業コード	260000	大村湾を活かしたまちづくり自治体ネットワーク事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	誰(何)に対して事業を行うか 長崎市、佐世保市、諫早市、大村市、西海市、長与町、時津町、東彼杵町、川棚町、波佐見町		
意図	対象をどのような状態にしたいか 「大村湾を活かしたまちづくり自治体ネットワーク」を設置し、大村湾岸自治体の広域的な連携と交流を促進を図り、各自治体が有する環境の保全、教育文化や産業の振興、住民が主体となった地域活動など多様な社会的及び人的資源の有効に活用により、環大村湾自治体の浮揚と地域活性化の契機とする。		
事業概要	意図を達成するために実施することは何か 関連イベントの開催(冠少年スポーツ大会)		
事業期間	平成 26 年度 ~ 平成 27 年度	実施方法	直営、委託
根拠法令、要綱等			
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 「大村湾を活かしたまちづくり自治体ネットワーク」主管課長会議の開催回数	計画値		2	2	3	
		実績値		4	2		
		達成度	%	200.0%	100.0%		
活動指標	② 大村湾首長サミットの開催回数	計画値		1			H26で終了
		実績値		1			
		達成度	%	100.0%			
成果指標	① 大村湾首長サミット参加者人数	計画値		500			H26で終了
		実績値		500.0			
		達成度	%	100.0%			
成果指標	② 大村湾流域自治体交流スポーツ大会参加者数	計画値			500	800	H27新規設定
		実績値			755		
		達成度	%		151.0%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	2,336	300	226	26	26	26	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源		2,336	300	226	26	26	26	
② 人件費(千円)	0	6,396	3,879	4,120	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)		0.75	0.55	0.55	・自治体ネットワークによる協議	・自治体ネットワークによる協議	・自治体ネットワークによる協議	
時間外勤務(時間)		364		60				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	8,732	4,179	4,346				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年度は自治体ネットワーク会議による各自治体の地域資源活用、課題解決等に連携して取り組むための会議及びスポーツを通じた交流を継続して実施した。
事業が抱える問題・課題等	行政レベルでのネットワークが設立されたが、今後、住民レベルでの継続的な連携・交流を促進する取組が必要となる。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村湾を活かしたまちづくりを進めるためには、広域的な自治体連携が必要である。						
妥当性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村湾を活かしたまちづくり自治体ネットワーク構成市として、主体的に関与する必要がある。						
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	連携自治体によって、新たな取組による話題性が高く、地域資源の有効活用が図られる。						
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村湾をテーマとし、まちづくりのために関する広域連携が図られる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	必要最小限の委託費であるため、削減の余地はない。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	縮小	
--------	----	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	自治体ネットワーク会議による各自治体の地域資源活用、課題解決等に連携して取り組む。スポーツを通じた交流については、3か年継続し団体間の交流が図られたため終了する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	大村湾流域5市5町が連携して大村湾を活かしたまちづくりに取り組むことができる。

1次評価	今後の方向性	縮小		2次評価	対象外	今後の方向性	
	終期設定				終期設定		
	意見等				内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。